

「浜を守る！ぎょさい総加入運動」スタート！

～災害対策の柱として積極的な活用を！～

新全国運動「浜を守る！ぎょさい総加入運動」-「ぎょさい」でつなぐ明日の漁業-がこの4月からスタートしました。

ここ数年、赤潮や台風、大時化、大型クラゲなど枚挙に暇がないほど自然災害の発生が続いており、今年も平年より海面水温が低いラニーニャ現象が観測され漁業に与える影響が懸念されています。また、魚価安や燃油高騰などの影響により浜の漁業は極めて辛い状況にあります。

今こそ、漁業者の皆さんに「自己責任が叫ばれる時代の経営対策の柱」としての「ぎょさい」の積極的な利用を更に進めていくときです。

そこで、この新運動の主旨や取組について多くの関係者のみなさまのご理解とご協力を頂くために4月27日に東京で水産庁や都道府県、JF全漁連、業種別全国団体を招き、「浜を守る！ぎょさい総加入運動」全国会議を開催しました。

この会議で小林水産庁長官からは「水産基本計画の見直しに入り、経営安定対策としてのぎょさい制度が大きなテーマとなっており、加入の広がりにより漁業経営の安定につながることから、加入推進運動の重要性を感じている。」と新運動の理解と協力について、また、「優良漁業者の加入促進策などとして今年度より予算化された新しい掛金助成の『漁業共済基盤強化事業』を有効に活用して加入促進を図って欲しい」と、植村全漁連会長からは、「漁協系統としても、浜を守るため連携を更に強化し、組織をあげて協力していく」とのそれぞれ力強いごあいさつを頂きました。

この新運動は、浜まわりや漁業者に「ぎょさい」の理解を深めてもらう努力など地道な活動を基本とし、地方公共団体や漁協系統、業種別団体のみなさまとの緊密な連携を強化しながら、運動の目標である「明日の漁業の主要な担い手の全員加入」、「真に経営安定に役立つための補償力の更なる向上」に向け、18年度の目標金額（共済金額）4,121億円（17年度実績：3,887億円）、更には運動最終年度（20年度）の目標金額4,300億円の達成を目指して運動を展開いたします。

この新全国運動を成功させ一人でも多くの漁業者の方から「ぎょさいに加入していて良かった！」との声を聞くことができるためにも、行政庁をはじめ漁協系統団体や業種別団体の皆さま方には、今後とも更なるご支援・ご協力をお願い申し上げますと共に、漁業者皆様方のご理解を申しあげます。